

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社双葉金属

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																																																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																																																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		自社内はもちろん自社HPIに経営理念をうたい、経営目標、品質方針、環境方針を掲示し、朝礼時、唱和し周知徹底している。												8	9										17																																																	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則等で徹底。朝礼時の注意や管理職の教育を実施している。																							16																																																	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		取引先とは、毎年契約を交わし、互いに公正な取引に努めている。下請法を遵守するよう、管理職教育を実施している。																10							16																																																	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		ISO運用に基づき、品質・環境・安全衛生上の組織を整備している。																							16																																																	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		【予定】知的財産制度については、役員・管理職全員e-ラーニング等での研修を予定している。(2022年度中)														8.2	9																																																									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		入社時の教育や、役職者の研修等で、周知徹底を図っている。																							16																																																	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		常に双方での情報交換を行っている。毎年取引契約書を交わしている。顧客とは毎週のweb会議メール等の打ち合わせ。サプライヤーとは、月毎のweb及び訪問等の打ち合わせ。																						16	17																																																	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		取引先からのサステナビリティアセスメントの各項目ごとの調査に定期的に回答している。毎年1回実施される調査(労働環境・セキュリティ・安全衛生・環境・論理等)に回答している。						5									8		10			12	13	14	15	16	17																																															
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																							9		11			13.1				16	17																																									
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●																			8	9													17																																									
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●																									1	2							5			8					12	13	14	15	16	17																												
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		入社時の教育および、管理職の研修等で徹底している。現在、高齢者・障害者・外国人・ジェンダーを雇用している。															4.3	5.1																	8.5		10.2						16.1																															
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		常に安全な職場を目指している。労働災害0件を目標に掲げ、日常の管理活動を実施している。(社員の体温等健康チェックと各グループごとの安全確認の徹底。指差し呼称。)																																			8.8																																					
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		各雇用形態に関わらず、ガイドラインに沿った体制を整え、実行している。																																						8.5		10.2						10.3																										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の削減を目指している。前工程で大型機械を導入。24時間稼働で、従来より3日~5日早く次工程に製品が流れるため、生産時間の短縮が図れる。休日は、2021年より10日増やした。子育て・介護・心身の静養等、長期の休暇も認めている。																																				8.5		10.3						8.8																												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		年間の目標を立て、従業員の資格取得(フォークリフト、溶接認定等)に積極的に取り組んでいる。従業員希望の講習等、全額会社負担である。資格者リストを作成し管理している。																																						8		9																																
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年一回の健康診断はもちろん、3回のコロナワクチン接種は、社員全員顧客の職域接種に参加している。インフルエンザの予防接種は、毎年当社全額費用負担で社内で実施している。協会けんぽヘルスター認定を受けている。																																								8								17																								
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		バリアフリー化は完全ではないが、現在、高齢者・障害者・外国人・ジェンダーの雇用をしている。今後も積極的に継続する予定。																																									8.5		10.2						10.3					16.7																		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー会議等を導入している。	●		顧客とは、オンライン会議、交渉、打ち合わせ等で常にテレワークを活用。感染症に関する情報は、常に新しい情報を、全従業員に提供し、共有している。																																															3								8		9.1					11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																																																					8		9.1							11	12											
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																																																						3									8		9									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社双葉金属

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ISOの運用で、管理している。 顧客要求事項である製品含有化学物質を、JAMPIに加入し、管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		環境省のポテンシャル診断を実施し、現状のエネルギーの把握と、工場内のLED化やペーパーレスなど、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		環境省のCO2削減のためのポテンシャル診断を実施し、現状の温室効果ガス排出量の把握と、梱包材の簡素化・ペーパーレス・照明のLED化など、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		リサイクル製品を積極的に利用(梱包材や緩衝材)することで、生物多様性の保全に努めている。						6.6										14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		納品時に通い箱を積極的に利用している。										9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●				2.4				6.3 6.4 6.6						11.5				14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		リサイクル製品を積極的に利用している。(梱包材や緩衝材など)										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		当社は、社内でのごみは全て社員が持ち帰る。(産廃等工場内のごみは別)生ごみも持ち帰るというルールを徹底しているため、食品ロス(無駄にもってこない)の効果がでている。	1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		従来の機械から、設置投資を実施し、省エネ機器に切り替えている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		会社で購入するプラスチック製品などは、紙製のものを積極的に使用している。													12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		近隣に住んでいる社員には、自転車通勤を奨励している。(現在4名)										9.4		11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		大手半導体製造装置メーカーが顧客のため、発行・改訂される「製図標準」「検査基準」「品質評価表」「納品方法要項書」にそって、対応できるような体制を構築している。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		車いすが通れるようなスペースを十分確保している。 現在、障害者・高齢者の雇用をしているが、さらに環境整備に向け検討中である。 【予定】専用の着替えスペース(休憩スペース)を設置する。									9.1	10	11.7							17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地元商工会への寄付や、地域住民の雇用、地域清掃活動や、学校への寄付等を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地域および当工業団地内のハザードマップを掲示し、周知している。 消火器マップの作成や、緊急避難(連絡網)の教育を実施している。				4							11.5		13.1			16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5			13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	近隣の支援高等学校からは、毎年2回職場体験実習生を受け入れている。 (その後、社員として採用している。)				4				8.6		10.2							17			
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6										17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17		